

議題（3）

（説明資料）

（仮称）平和資料館のコンセプト・建設場所（案）

議題（3）

（仮称）平和資料館のコンセプト・設置場所（案）

本市では戦争の悲惨さや平和の大切さを市民に伝えるため、「原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」や「北九州市非核平和都市宣言」の実施、「戦時資料展示コーナー」における戦時下の暮らしを中心とした資料の展示等、様々な取り組みを進めてきた。

戦後71年が経過し、戦争の記憶の風化が懸念されており、本市に関係する戦争の記憶を後世に伝えることが大きな課題となっている。

そのため、戦争の悲惨さを伝え、平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけとなるよう、新たに（仮称）平和資料館を建設するもの。

なお、下記のコンセプト等は懇話会の活発な議論のため、例示している。

1（仮称）平和資料館のコンセプト

- 北九州市における戦争の悲惨さを保存・継承する施設
- 平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけとなる施設

2（仮称）平和資料館の主な展示内容

- （1）八幡大空襲を始めとする本市の空襲に関する資料
 - （2）長崎の原爆に関する資料
 - （3）戦後の復興に向けた市民生活に関する資料
 - （4）米国国立公文書館から収集した資料
- ※現在のコーナーに加える主な資料

3（仮称）平和資料館の建設候補地

小倉北区：勝山公園の一角（関連事項・小倉造兵廠、長崎原爆の投下予定地）
他に市議会より八幡東区、門司区「めかり山荘跡地」の意見もでている。